

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月24日 (2008.4.24)

【公開番号】特開2007-269807(P2007-269807A)

【公開日】平成19年10月18日 (2007.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2007-040

【出願番号】特願2007-145209(P2007-145209)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/045 (2006.01)

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/125 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 P 27/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 31/045

G 0 2 C 7/04

A 6 1 K 31/125

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/42

A 6 1 P 27/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月7日 (2008.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メントールと、ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレンブロックコポリマー、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレンアルキルエーテル類、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンアルキルエーテル類、ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル類及び両性界面活性剤からなる群より選択される 1 種以上の界面活性剤とを含有することを特徴とするソフトコンタクトレンズ用点眼剤。

【請求項 2】

界面活性剤の配合量がメントールに対して、10～100倍（重量）であることを特徴とする請求項 1 記載のソフトコンタクトレンズ用点眼剤。

【請求項 3】

さらに増粘剤を含有する、請求項 1 または 2 に記載のソフトコンタクトレンズ用点眼剤。

【請求項 4】

pH を 5.5～8.0 に調整してなる、請求項 1 から 3 のいずれかに記載のソフトコンタクトレンズ用点眼剤。

【請求項 5】

ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレンブロックコポリマー、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレンアルキルエーテル類、ポリオキシエチレンポリオキシブ

ロピレンアルキルエーテル類、ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル類及び両性界面活性剤からなる群より選択される１種以上の界面活性剤を点眼剤に配合することを特徴とする、ソフトコンタクトレンズ装用時点眼剤中のメントールがソフトコンタクトレンズに吸着することを防止する方法。

**【請求項 6】**

ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレンブロックコポリマー、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレンアルキルエーテル類、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンアルキルエーテル類、ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル類及び両性界面活性剤からなる群より選択される１種以上の界面活性剤をメントールの10～100倍（重量）配合する、請求項 5 に記載の方法。